moritoie.net

森と暮らす まちを育む 森とイエ

森とイエ 通信 Vol.09

「森とイエ」は
地域の工務店と建築家が
協働して
これからの北海道らしい
住宅を創造する
プロジェクトです

＊事務局＊
(一財)下川町ふるさと開発振興公社
クラスター推進部　担当/相馬
TEL:01655-5-2770
FAX:01655-5-2771

＊森とイエ サポートセンター＊
札幌市中央区大通西26丁目
1-18　円山アーク301号
Sa design office 内
TEL & FAX:011-213-7636

企画・運営
森とイエ プロジェクト
http://moritoie.net/

K-HOUSE　ＪＩＡ主催の北海道建築大賞にて審査員特別賞（優秀賞）を受賞！

JIA北海道建築大賞2016にて、川島邸「Shimokawa Blanc」が審査員特別賞を受賞いたしました。この場を借りてご報告させていただきます。北海道建築大賞は日本建築家協会北海道支部が主催する賞であり、趣旨は「北海道の新たな建築文化に寄与する建築作品や活動に対して表彰を行い、北海道の地域文化や建築文化の発展に対する意識の高揚を図ることを目的とした「JIA北海道建築大賞2016」を創設しました」というものです。

（詳しくはこちら：http://www.jia-hok.org/award2016/index.html）

その趣旨はまさに「森とイエ」から生まれた「Shimokawa Blanc」にぴったりではないかと思い、昨年の12月に応募の手続きをおこないました。今年4月にパネル展示による一次審査、プレゼンテーションによる二次審査を無事通過し、6月の現地審査を経て審査員特別賞の受賞が決定しました。審査委員長の建築家・飯田善彦先生には「全てが美しくデザインされ、換気暖房システムも無落雪屋根も断熱も理路整然として申し分ない」と高い評価をいただきました。また「一瞬とはいえ清涼な夏の空気にも向かう建築のありようも探してほしい。北の大地ならではのこれからの取り組みが楽しみである」と、建築家として目指すべきひとつの方向をいただけたのも大きな収穫です。

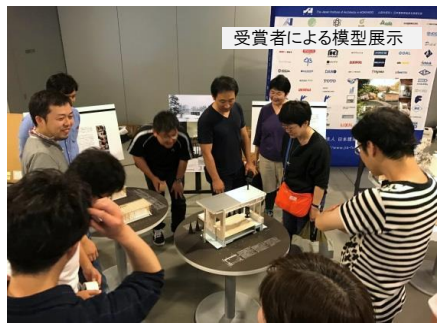
実は、現地審査では川島さんご夫妻、山形社長にもご協力いただきました。施主と地域の工務店、建築家の三者の協働により家が作られたこと、住宅デザインのみならず、「森とイエ」という「しくみ」が大切であることを審査委員の方々にお伝えすることができたのが受賞の大きな要因だと感じています。

最後になりますが、「森とイエ」をいつも応援していただいているオーナーの皆さま、心より感謝いたします。今まで一緒に「森とイエ」を作り、育ててきた相馬さん、山形さん、大野さん、高橋さん、照井さん、中舘さん、櫻井さん、新海さん本当にありがとうございました。川島さんご夫妻、ご自宅の受賞おめでとうございます。このような報告ができたことがとても嬉しく光栄です。
これからもよろしくお願いいたします。簡単ではありますが、受賞の報告でした。(小倉)

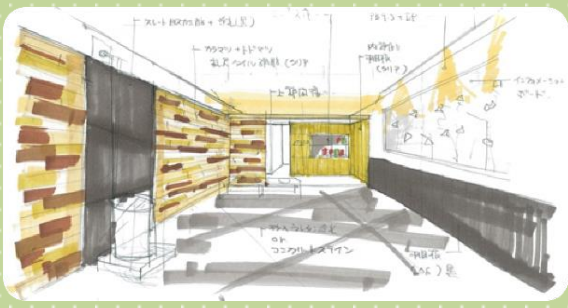
なんと、このあとにAIJの賞も決定しました！詳しくはまた次号にて…

現地審査

授賞式


受賞者による模型展示

しもかわバス待合所改修プロジェクト



下川町の交通幹線となったバス。バスの停留所ってある意味で町の顔になるところですよね。下川町内に数カ所あるバス待合所ですが、なんとその一つ「旧大町商店バス停」を森とイエのワークショップによって改修することになりました。スケッチは昨年秋に作成したアイディアですが、木材をいろいろとたくさん使ったデザインとしました。目下、ワークショップの企画を進めながら、材料代の積算中。何事をするにも先ずは図面を書かないと始まりませんね。

企画では、デコボコしたデコレーションの壁を、１０月７日（土）開催のワークショップで制作する予定ですので、沢山の方々にご参加いただきたいと思っています。
「せっかくだからあの待合所でバス待ちしよう！」なんて自慢の待合所になってくれると良いなぁ、と得意の妄想をしています(^^)

（中舘）

column

年齢を重ねるたびに一週間、一カ月、一年が早く過ぎてしまう。
子供の頃を思い出すと、時間を持て余しながら一日を過ごしてた様な気がします。そして20歳、30歳と月日が流れ、40歳位から時の経つのを早く感じ始め 50歳過ぎると口癖のように『一週間なんてあっという間にすぎるよな～』言っている自分がいます。時間はいつの時代も一日24時間、一年365日なのに･･･。
ある人によると『発見が多いと、時間が経つのが遅く感じる』と言います。常に人と出会い、新しいことにチャレンジしたり、自分にはない価値観・考え方を得て いままでの経験と融合させ、いかに人生を自分らしく生きていくのか？これからの人生のテーマです。
自分にとって本当に充実した時間を過ごすため、「一週間長かった！」と思えるような時間の過ごし方を送りたいと思います。

(高橋)

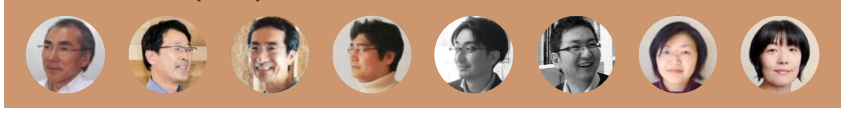
「森からはじまる家づくりツアーと構造見学会」報告

7月1日、「森からはじまる家づくりツアーと構造見学会」が下川町にて開催されました。ツアーは丸太がうずたかく積み上げられた森からスタート。普段は目にすることのない迫力の光景に、参加者からは「すごい！」等と声が上がります。その丸太を前に、どのように木が伐られ、管理されるのかを下川町役場の斉藤さんに解説頂きました。
次に訪れたのが「下川フォレストファミリー」。ここでは、木が加工されてゆく過程を見学。木材がフロア材や家具となっていく様子や、最新鋭の機械を使って複雑な形に加工される様子などを下川フォレストファミリーの麻生さんにご案内頂きました。
最後に、建築中のF-HOUSEへ。加工された木材が実際に使われている中、木材の性質や地元の木材を使って建てることの意味などについて、中舘さんよりお話しさせて頂きました。
下川町と名寄市から11名の参加。皆さんとじっくりとお話しできたのが良かったです。ご参加の皆さま、ご協力頂いた皆さま、ありがとうございました！

（新海）

新体制になりました

本年4月より森とイエプロジェクトの会長を務める事となり、大きな責任と重圧を感じています。プロジェクト設立当初の4年間は、工事の事業も毎年のように有り、順調に活動していたような気がします。最近は色々な事情により工事の事業もなく、足踏みの状態が続いていましたが、本年１棟の工事受注に向かった事、大変有難く思っています。また新たなメンバーも加わり、当初スタート時点で８人でしたが今では１０人となり、徐々に大きく広がっていく事に、責任と戸惑いを覚えます。メンバーの皆さんと共に目標を持って、色々な取り組みと活動を進めて行きたいと思っておりますので、今後ともよろしくお願いします。(山形)



仕事場訪問

訪問先：nd studio

nd studioがこの場所に移転したのは２０１６年の５月。森とイエの打ち合わせで皆がここに集まることも多く、私も何度もお伺いしています。
以前のオフィスもそうでしたが、中舘さんの事務所はいつもとてもスマートです。きりっとして無駄のない、行き届いた雰囲気が中舘さんらしいなと思います。森とイエの会議の時など、中舘さんは進行役となることが多いのですが、皆が思いのままに話を進める中、冷静に状況を分析し進むべき方向に舵取りをして下さいます。その空気感が事務所の空間にも表れているなと感じるのです。
上の写真の右側に写っているのは、プランナーの田村さん。仕様決めの時に伺ったのですが、田村さんもテキパキ！「あの時のあれ」と言えばその資料を、「こんな感じ」と言えばこの資料…そんな調子で打ち合わせは進んでゆきます。でも、ピリリとした感じではなくて、私がまったりしていても笑って受け入れてくれる穏やかさもある、そんな仕事場です。訪問者：新海